

第2回 丘珠空港PI評価委員会 議事録

日時 2026年1月13日（火） 13:00～14:30

場所 Web開催

出席者（敬称略）

北海道大学公共政策大学院 客員教授	石井 吉春（オンライン参加）
公益社団法人 日本騒音制御工学会 理事	中澤 宗康（オンライン参加）
茨城大学工学部 教授	平田 輝満（オンライン参加）

1. 開会

（司会）

皆さんそろいましたので、ただいまから第2回 丘珠空港PI評価委員会を開催いたします。

本日の進行を務めさせていただきます、北海道開発局 空港・防災課の松本です。どうぞよろしくお願ひいたします。

2. 挨拶

（司会）

それでは開催にあたりまして、事務局を代表しまして、東京航空局空港部長の林よりご挨拶申し上げます。

（林部長）

東京航空局空港部長の林でございます。委員の皆様におかれましては年明け早々またお忙しい中、ご出席賜りまして厚く御礼申し上げます。

丘珠空港の機能強化に関しましては、公共事業の構想段階における計画策定プロセスガイドラインを踏まえまして、丘珠空港PI推進協議会および丘珠空港PI評価委員会を設置し住民参画を促進していくこととしているところでございます。

本丘珠空港PI評価委員会につきましては、PI推進協議会が実施するパブリックインボルブメントにつきまして助言および評価をいただくことを目的として昨年10月に設置されたところであります。

その後特設サイトや住民説明会等を通じて多くの皆様からたくさんの貴重なご意見をいただきておるところでございます。

本日はこういった、これまでの実施状況とこれを踏まえた中間取りまとめ結果につきましてご報告させていただければと思っております。

皆様には専門的なお立場から忌憚のないご意見を賜れば幸いでございます。本日はよろしくお願ひいたします。

3. 出席者紹介

(司会)

続きまして委員の皆様をご紹介させていただきます。

初めに北海道大学公共政策大学院客員教授の石井 吉春様でございます。

次に北海道大学大学院経済学研究院教授の岡田 美弥子様でございます。本日ご欠席でございます。

次に公益社団法人 日本騒音制御工学会理事の中澤 宗康様でございます。

次に茨城大学工学部教授の平田 輝満様でございます。

次に学園法律事務所弁護士の向田 直範様でございます。本日ご欠席でございます。

なお、過半数の委員が出席しておりますので設置要綱第7条第2項により本委員会は成立となります。

続きまして、本日の資料になります。次第に記載の通り、議事次第、委員名簿、資料1としてPI中間取りまとめ(案)でございます。資料につきましては画面にて共有いたします。

続きまして会議の注意事項についてお知らせさせていただきます。多くの方にご参加いただいておりますので、回線の都合上音声や画面に不具合が生じる可能性があることをあらかじめご了承ください。会議中、委員の皆様および事務局以外の方につきましては、カメラ、マイクをオフとしてください。報道関係者におかれましては、会議の録音・録画、スクリーンショットの撮影、写真撮影については行わないようお願いいたします。また、委員会に関するご質問等につきましては本会議とは別に報道発表資料に記載の北海道開発局または東京航空局の問い合わせ先までご連絡ください。

以上委員会の進行にご協力をよろしくお願ひいたします。

それでは議事に入らせていただきます。議事進行につきましては設置要綱に基づき、石井委員長にお願いいたします。よろしくお願ひいたします。

4. 議事

(1) 中間とりまとめ経過報告について

(事務局)

事務局でございます。どうぞよろしくお願ひします。

それでは、丘珠空港機能強化計画に関するPI中間取りまとめということで説明させていただきます。

1つ目、PIの実施状況ということでございます。

今回お示ししますのは、PI の意見募集が始まりました 11 月 20 日から 12 月 19 日までの話ということでございます。

1 つ目は作成した媒体資料ということでございます。これをページに従って、ご紹介させていただこうと思います。

1 つ目は、特設サイト、こちらの北海道開発局の公式ホームページの中に設置させていただきました。こちらは情報提供、それから、地域の皆さんから意見をいただくための意見募集フォームなど、あわせて掲載しているところでございます。またこちら、他言語対応ということで英語中国語韓国語にも対応したものとなってございます。

下の方に意見記入フォームとなります。こちら後ほどまた簡単な紹介をさせていただきたいと思います。

次のページでございます。ハガキ・チラシですか、あとポスター、それから機能強化計画書冊子、こちら 24 ページございます。実際手に取ってみてわかつていただくような実際の紙媒体。それから、先ほど申し上げた特設サイトにも、こちら電子版の PDF を表示させていただいております。またこちら、先ほど申し上げた他言語対応もさせていただいているところでございます。

それから、下の方に紹介ありますけれども、こういった媒体を、まちづくりセンターですか、丘珠空港の就航先の静岡空港ですか、こういったところであらゆる媒体を通じて紹介もさせていただいているところでございます。

次のページでございます。周知広報状況ということでございます。

先ほど申し上げたポスター・チラシですか、機能強化計画書ですかこういったものを、丘珠空港の公式ホームページですか札幌市さんとか北海道庁さんのそれぞれのホームページ、それから我々開発局の X とかインスタグラムとか、こういった SNS を通じて、周知広報をさせていただいているところでございます。

加えて、今回の PI 活動の展開に当たりましては、報道機関への情報提供を随時実施させていただきました。その結果、地上波放送のニュース番組ですか主要各社において取り上げられまして、広範な周知と社会的な関心の喚起につながったと考えております。

次のページでございます。情報提供・意見聴取方法と書いてございます。

広報とか周知をさらに踏み込んで、提供した情報の中身についても説明させていただくものを、我々情報提供というふうに位置づけまして、こちら記載してございます。

具体的にはパネル展とか、住民説明会（オープンハウス型）それから住民説明会（教室型）と称しておりますけれども、パネルを置いて、実際、中に何が書かれているかということも、見ていただいたりとか、その中身について、フェイストウフェイスで説明したりといったものを情報提供というふうに呼んでございます。

まずパネル展でございます。我々が今おる、札幌第 1 合同庁舎ですか、あと北海道庁さん、札幌市役所におきまして、パネルを展示させていただきました。

また住民説明会（オープンハウス型）ということで、丘珠空港ターミナルこちら、11月の20日から1月の20日まで、常設展示させていただいております。

なお、こちら、職員が、平日土日祝日、朝10時から15時まで張りついて対応させていただいております。また札幌駅の地下街、地下歩行空間、チ・カ・ホですけれども、こちら12月の12日・13日・14日の金・土・日、こちら朝から晩まで、職員を張りつけてパネルを展示させていただきました。ここに来られた方々とコミュニケーションをとったり、必要な情報提供それから意見をいただいたりなど対応させていただきました。

また最後、住民説明会（教室型）ということでございますけれども、こちら過去に、札幌市が将来構想を作られた際に、地域の方々に説明して回ったエリア、東区・北区を中心に、空港周辺の11の町会、9ヶ所で説明会を実施させていただきました。

なお、こちら札幌市のやり方に倣って、我々も付箋を使った、情報提供コミュニケーションをとらせていただきました。

これについて、簡単に触れさせていただきますけれども、この付箋を利用させていただいた理由として、4点ほど掲げてございます。

まず、この限られた時間の中で数多くの意見を収集するためということでございます。これは、やはりどうしても説明会となると、どなたか数人の方が、マイクを握ってご意見を主張されるという、これまでの説明会でかなり散見されたということがございます。そうしますと、意見を言いたくても言う時間がなかった、時間切れになってしまった、といったことで、かなり不満を持って帰られるということもあったと聞いております。ですので、そういったことがなるべくないように、我々としてはこの付箋を使いまして、皆さんのが思うところを感じるところとか、疑問に思うところとか、紙面小さいですけれども、この付箋を使ってたくさんのご意見いただいたというものでございます。

これによりましてこの2つ目3つ目でございますけれども、この収集したご意見、多種多様なご意見ありました。こういったものを、可視化・分類いたしまして、地域の方々、それぞれどんなご関心があるかということの傾向を把握させていただくということもさせていただきました。

また、この可視化・分類化することで、意見交換もさせていただいたんですけども、その際に何か1つの話題に集中しすぎるということを防ぎまして、いただいたご意見も満遍なくコミュニケーションをとらせていただくということもさせていただきました。

また最後に、この説明会の意見交換の際に回答しきれなかつたご意見について、これを確実に回答させていただこうと思っております。こちら、後ほどご紹介しますけれども、いただいたご意見1つ1つに対して、PI推進協議会の考え方を、しっかりと示させて

いただこうと思っておりまして、こちらにつきましては、PI 推進協議会の最終取りまとめにおいて、しっかりとお示しさせていただこうと考えております。

次のページです。次から、具体的にその意見をいただいた結果について報告させていただこうと思います。

まず 1 つ目の意見の提出者数でございます。意見募集については、11 月 20 日から 12 月 19 日までの約 1 ヶ月間まず行ってございます。これは最終的には、1 月 20 日までの 60 日間ですけれども、今回、その 1 ヶ月経過したということもあってその前半、中間的なものとして、取りまとめたものでございます。その結果を、こちらお示しさせていただこうと考えております。

まず 1 つ目、表の 2-1 ということで意見提出件数というものございます。こちら、先ほど紹介した Web ページの意見記入フォーム、それから、チラシにくつついてるハガキについての、集計をしたものでございます。こちら書いてございますけれども、意見フォームにつきましては、612 件、ハガキについては 219 件の回答数がございました。参考までに右の方に、令和 4 年に札幌市が行ったものもつけてございます。

それから下に、表 2-2 で、自由意見数ということで、先ほどの 2-1 は選択したものだけをカウントしているんですけども、自由意見ということで日本語で回答いただいた方に自由意見も書いていただいたんですけども、その数についても集計してございます。意見記入フォームの中に書いていただいた自由意見が 495 件、ハガキにつきましては 291 件、それから住民説明会、こちらは先ほど触れました付箋です。付箋の数を書いてございます。それぞれの説明会場ごとに、これだけの付箋がいただけたということございます。それぞれ丘珠 : 36、伏古本町 : 28、とありますが、こちらは全部合計で 319 件というふうになってございます。これを全部足し合わせると自由意見数がこの中間段階ですけれども 1,105 件いただいたということになります。

続いて、意見提出者の属性ということでございます。ハガキですとかフォームに、ご回答いただく方の属性も記入いただくことになっておりますので、そちら集計したものをこちら示してございます。こちら見ていただくと、札幌市内の方が、608 件それから、ちょっと下の方に行っていただくと、北海道につきましては、728 件、また、日本全国、世界、全部広く周知させていただきましたのでそれを全部見ると 831 件というこういった結果になってございます。

続いて、9 ページです。ご回答いただいた方々の属性の中で年代を調べてございます。20 代未満から 70 代以上というカテゴリーに分けてございますけれども、40 代以下といったところを見ていただくと 3 分の 1 の方にご回答いただいておりまして、50 代から 70 代以上にかけては 3 分の 2 ということで、まんべんなくご回答いただいたのかなというふうに考えてございます。

あと丘珠空港の利用頻度でございますけれども、全く利用しないという方が 3 分の 1 程度、数年に 1、2 回程度というのも 3 分の 1 程度、それ以上の方は 3 分の 1 程度ということで綺麗にわかつてございます。

またパブリックインボルブメントと今回の取り組みを、どのような形で知りましたかということも書いてございまして、SNS ですかホームページとかいろいろやらせていただきましたけれども、結果だけを見ると、周りの知人から聞いたという口コミ、こういった形が 1 番多かったという結果となっております。

次のページでございます。ハガキとか、意見フォームでいただいた結果についてご紹介させていただこうと思います。

1 つ目が、「丘珠空港における機能強化の必要性について以下の A から D の項目についてそれぞれ 1 つご回答ください」、丘珠空港を機能強化する必要性として、我々事務局の方から、4 つほどこの必要性の理由といったものを示させていただきました。1 つ 1 つちょっとご紹介させていただきますと、1 つ目が小型ジェット機の冬期運航制限緩和、2 つ目が B ということで安全・防災支援機能の確保、それから C ということで 3 つ目、道内外を結ぶ航空ネットワークの充実それから D、4 つ目で道央圏空港の機能強化というものを示させていただきました。

それぞれについて、必要だと思います・やや必要だと思います・どちらともいえない・あまり必要だと思わない・必要だと思わない、というこの 5 択で答えていただきました。その結果がこちらグラフに書いているものでございまして、こちら結果を見ていたいわかる通り、必要だと思います・やや必要だと思いますという、この 2 つにつきまして、A から D 全体見ますと、全てで 9 割以上の方が、必要だと思います・やや必要だと思いますという回答をいただいたという、そういった中間結果となってございます。

また下の方に書いてございますけれども、この 4 つ以外に、さらに強化が必要な機能があればご自由にお書きくださいということで書いてございます。

いただいた意見、全てを紙に書いた通りに表現はしてないんですけども、このいただいたものを、要約して提示させていただいてございます。空港アクセスの改善とか、駐車場の拡張とか、ターミナル機能の強化とか言った、この滑走路とはまた違った角度からのご意見も多数いただいているところでございます。

それから 11 ページ目でございます。質問 2、こちらこの丘珠空港の滑走路延長計画案、2 つほど示させていただきましたけれども、これを、皆さん評価する際に皆さんが重視する優先順位を教えてくださいということでございます。

こちら、4 つほど書いてございます。整備効果・空港周辺への影響・事業期間・事業費という 4 項目ありましたけれども、どれをどういった順番で皆さんご関心が高いですかということを聞いたところ、1 番は整備効果ということで、とにかくしっかりと意味のある工事をしてくれと、事業してくれということなのかなと思います。

また空港周辺への影響がそれに続いて 2 番目ということでございます。これは事業を実施するにあたってしっかりと地域への配慮もしろというご示唆なのかなと思っております。以下、事業期間・事業費というものも書いてございます。

それから 3 つ目でございます。丘珠空港機能強化計画書に記載している内容の理解度ということでございます。こちら、我々として、よく理解できた・ある程度理解できた・あまり理解できなかった・全く理解できなかったという 4 択を提示させてもらったんですけども、ご回答いただいた方の約 9 割の方がよく理解できた・ある程度理解できたというご回答をいただいたところでございます。

次のページ以降、自由記述、こちら特に丘珠空港の機能強化の必要性に関するところの自由意見を書いてございます。こちら、ちょっとと 7 ページに戻ってください。先ほどご紹介した、表の 2-2 の自由意見数というところあるんですけども、こちら自由意見数合計 1105 件というふうに申し上げましたが、このうち 234 件については、丘珠空港の機能強化の必要性に関する意見をいただいたということでございまして、こちらの 234 件全てを、12 ページ以降に掲載させていただきました。

意見記入フォーム・ハガキ・住民説明会、それぞれから自由意見いただきまして、その内の、繰り返しになりますが機能強化の必要性にかかるところを抽出してございます。なお、この書き方、点や丸等、書き方はすべて原文のまま載せてありますので、若干読みづらいところもあったりしますけれども、このいただいた意見を全て丁寧に拾い上げるということでそのまま掲載してございます。ご承知おきください。

全部紹介すると時間がなくなるので、各ページかいつまんで紹介させていただきますと、まず 1 つ目、意見記入フォームから全部で 133 件いただいております。簡単に読み上げさせていただきます。

そもそも丘珠に滑走路は必要ない。新千歳を拡張して空港アクセスを強化すれば費用対効果の面から安上がりで十分。税金の無駄遣いだと思う。丘珠空港のメリットは新千歳まで高速鉄道を整備するだけで十分じゃないか。

メリット無く騒音リスクしかない。プロペラ機を使えば滑走路延長は必要ない、といったご意見。

それから次のページ。

ぜひ強化し丘珠空港の充実をお願いします。ぜひ実現してください。ぜひ進めるべき。ターボファンエンジンの導入によりジェット機の騒音が大幅に減少しているのだから、もっと早くに滑走路延長を実現すべきだったと思います。地域住民の反対運動を恐れすぎたのではないでしょうか、といったご意見。

それから次のページ。

滑走路延長はむしろ遅すぎです。早急に進めていくべき公共事業だと思います。

滑走路延長は札幌市へのアクセスの選択を増やすもので、都市の魅力を増すものだと考えます。

滑走路延長計画には反対。これから日本の人口が減少していく状況下で、拡大する必要があるのかといったことなど、ご意見をいただいております。

これがつらつらとずっと続いておりまして、20 ページからハガキということで、こちらハガキも、81 件の自由記述意見に関するところについて掲載してございます。

それからまた飛んでもらって 25 ページです。

25 ページには 20 件ということで、こちら、付箋に書かれたものでございます。付箋の中で、必要性に係るものについて記載がありましたのでそれを抽出して掲載しているところでございます。

それから 27 ページ。こういった諸々の資料を用意させていただきまして、最後、この PI の目標達成判断ということをご報告させていただきます。

第 1 回の PI 評価委員会の際にもご提示させていただきましたけれども、この PI を実施していく中で、この実施した結果、所要の目標は達成されたのかといった指標、評価の指標についても、ご審議いただいたところでございます。その際に、4 点ほど評価の視点ということで示させていただきました。簡単に読み上げさせていただきますと、視点の 1 つ目、PI は適切に実施されたのかというものです。この PI に係る周知・広報・情報提供それから意見収集が、PI レポートに基づいた期間および方法により実施されたかを評価するといったものでございます。先ほど来説明した通り、特設サイト・ポスター・パネル・チラシ・機能強化計画書を制作しました。また、マスメディア・広報誌・SNS による周知広報を実施しました。また、特設サイト・ハガキ経由による意見募集・地区町会・オープンハウス説明会において情報提供・意見募集を実施させていただきました。これにより、我々といたしましては、PI レポートに記載されている実施項目は概ね網羅しております、PI は適切に実施されているというふうに判断してございます。

視点の 2 つ目でございます。提供した情報は適切に周知されたかといったものでございます。機能強化計画書・チラシの配布部数・説明会の参加人数・特設サイトへのアクセス件数・意見提出者数を把握し、提供した情報が周知されたかを評価すると。また意見提出者の年代居住地を把握して広く情報が周知されたかを評価するといったものでございます。周知広報の情報提供においては、機能強化計画書をホームページ・SNS・広報紙・メール・説明会など多様な手法・媒体を活用するとともに報道機関による報道もなされました。また現時点での意見回答数は、意見記入フォーム 612 件、ハガキ 219 件、住民説明会等の自由意見 319 件となってございます。意見提出者の属性については、北海道内各地域ですか、道外居住者の方々からいただいておりますし、幅広い年代の方からも多く意見いただいているところでございまして、適切に周知されたと判断しております。

視点 3 つ目でございます。PI 対象者は、PI 推進協議会が提供した情報を理解したかといったものでございます。今回、我々意見収集に当たりまして、丘珠空港における機

能強化の必要性に関する設問や、機能強化計画書の内容に関する理解度を確認する設問を設定いたしました。その結果、意見回答数は831件のうち、小型ジェット機の冬期運航制限の緩和等の必要性に関する4項目について、必要だと思う・やや必要だと思うと答えられた方の合計が全体の9割となってございました。また、丘珠空港機能強化計画書に記載している内容への理解度について、よく理解できた・ある程度理解できたと答えられた方の合計が全体の約9割となってございました。このことから、ハガキと意見フォームは、PI 対象者の理解の程度を定量的に判断できる唯一の手段ということもございますので、PI 推進協議会が提供した情報を多数の方が理解しているというふうに我々は考えているところでございます。

視点4つ目でございます。募集した意見に対してPI推進協議会の考え方方が示されているかといったものでございます。中間取りまとめといたしましては、分類集約した意見に対するこのPI推進協議会の考え方、こちらについてはまだお示ししきれていません。最終取りまとめの際に、しっかりと公表してまいりたいというふうに考えております。ご説明は以上でございます。ご審議のほどどうぞよろしくお願ひいたします。

(2) 審議

(石井委員長)

どうもご説明ありがとうございます。ただいまの報告を受けまして、委員の皆様からご質問やご助言をいただきたいと思います。

特に中間取りまとめにおける目標達成判断の視点として、4点提示いただいているが、それぞれの視点の妥当性について専門的な見地からご意見をお願いしたいと思います。

本日、出席委員が3人でございますので、それぞれ意見をいただきたいと思います。中澤委員からお願いしてもよろしいですか。

(中澤委員)

はい。ご説明ありがとうございます。まずPIの実施に関する話からですかね。

視点1と2だと思いますけど、これに関しては適切に実施できていると思います。やり方自体も比較的よくできていると思いますし、データの集まり具合もまだ中間状態の数値だと思いますけど、それでもそれなりに数集まっていますし、地域のバランスも丘珠の飛行場を中心に、札幌市から多数集まっていますので、そういう意味では、非常に評価できるんではないかというふうに思います。

その先も多分視点3の方ですかね3・4の方ですけどそこら辺を今後の期待という話がいくつかあると思います。中間状態なのではつきり結論めいたことは多分出ないと思いますけど、どういうふうな情報を集めてきたかっていう話をもう少し、今ざつと並べているだけだと思いますんで、もう少し詳しく分析してあげる必要があるようには

思います。例えば一例としては地域別に意見を分類してクロス集計を取るとか、そういうような形で、もう少し結果を見やすくする、どういう地域にどういう手当をすべきかとかそういういったような視点が得られるような分析が必要じゃないかというふうには思います。とりあえず今の段階では評価できるような内容になっているんじゃないかなとは思います。私の意見は以上です。

(石井委員長)

どうもありがとうございます。平田委員お願いします。

(平田委員)

はい。平田です。ご説明ありがとうございます。

今中澤委員からと大体全体の私の印象は同じですけども、非常に多様な方法を使って、適切に機能強化の必要性、およびその他機能強化のオプションについて丁寧に周知されているんじゃないかなと思います。特にオープンハウスですかね、札幌駅地下通路、チカホ、かなり不特定多数の方が通られる場所だと思いますので、ああいうところで限られた日数であったと思いますけど、ああいうところで、普段は気に留めずに、丘珠のこと知らない人も、それでしっかり足を止めて意見を伝えたりってことがきっとあったんじゃないかなと思いますので大変良い取り組みだったと思います。

あと、途中にご説明があった説明会での付箋方式ですかね、あのファシリテーショングラフィックっていうんですかね、多様な意見を可視化して共有してっていう方法も非常に多くの人から多様な意見を、もちろん賛成反対を含めてだと思いますけども可視化されて丁寧に聞かれているっていうのは札幌市さんの従前の活動を参考にされたというふうに先ほどコメントあったと思いますけども、こういう昔からの札幌市さんですとか丁寧な意見収集の方法を実践されてきている延長で今回もできたという意味では、この丘珠空港以外のこと、公共政策についてもそういうふうにやられているのかなと想像しますけども、そういう風なの含めて、住民の方の意見が適切に行政の方々等に、伝わっているんじゃないかなというふうにこの辺は非常に前向きに私も評価したいというふうに思いました。

少しあれですかね、簡単な質問をしても大丈夫ですかね。7ページ目の数なんですけども、ちょっと確認というか、先ほどの評価のときにもあったのを、ホームページのアクセス数みたいなものを考慮しましようって話があったと思うのですが、ここにどつかにあるんですかね、具体的にホームページのアクセス数なんていってるのは別にカウントなんかされてたりしますでしょうか？参考値かもしませんけど。

(事務局)

ありがとうございます。ちょっと、まだ中間的な状況ですのであくまでも中間的な数字だということでご理解いただければと思うんですが、今日の資料には載せてないんですけども、特設サイトのアクセス数で言いますと、7544 件の方にアクセスいただいております。うち、外国語対応へのアクセス件数は 64 件というふうになってございます。こちらちょっと中間段階でお示しできませんでしたが、最終取りまとめの際には、しっかりと示させていただこうと思います。以上です。

(平田委員)

そう、やっぱりかなりの数ですね。だから 7 ページ目にある、意見を提出された方だけでも 831 名。表 2-1 は人数ですよね。831 名だと思いますので、右側に参考の将来像、札幌市さんが過去にやられていたものの意見提出人数ですかね、それと比べても同等の数ですし今増えている最中だと思いますので、そういう意味でも人数的にも、過去の取り組みと照らし合わせても、十分な数かなというふうな感じがします。

また自由意見数を見ると、人数当たりの意見で見ると札幌市さんの方が非常に多い、3 倍ぐらいに見えるんですけども、これは自由意見の切り方ですかね、カウントの仕方もあって多少少ないんですけども、自由意見数も先ほどの細かい内容、個々の意見見ても十分吸い上げられているかなというふうな気がしました。

ちなみに、ここにそのオープンハウス、先ほどチカホのところで職員が双方向でコミュニケーションされているっていう、それもかなり大変な作業だと思いますけども、そこで得た質問はここにカウントされてないということでいいですかね。その数ももしカウントできているともう少し多いのか。この意見数もしくは意見提出件数の中には、内数で入っているのか、そのプラスアルファでまた乗ってくるのかっていうのはいかがでしょうか？

(事務局)

はい、ありがとうございます。

オープンハウス、これ空港とチカホでやってございますけれども、その際にコミュニケーションをとらせていただいている中で、ハガキをお渡ししています。それで実際にお話を中で受け取った意見もありますが、その意見を紙に書いてくださいと。紙に書いて提出していただければそれをちゃんと記録として残しますし、そこでこうして公式的な回答をさせていただきますというふうにさせていただきます。すなわち、先ほどの表 2-2 で申し上げると、ハガキ 291 件とありますけれども、この空港ですとかチカホでいただいたご意見というのはこの 291 の中に内数ということでカウントしております。

(平田委員)

基本的にはそこで口頭で質問されたことも、書面にもう1度書いてもらって提出していただいているということで。

(事務局)

そういうことです。

(平田委員)

はいわかりました。あとちなみにこの表2-2で、すいません細かいところで。この説明会だと、意見数はそこそこあるけども、今回の中間取りまとめ、特に議論する必要性に関する意見の数が比較的少ないですね。これは説明会の特性上必要性についてもちろん議論はしているけども、質問の意見の多くはこれからフェーズ2でやるような機能強化の中身についての意見が大きかったという意味ですね。必要性に関する意見が一般的のハガキとかフォームよりも少ないっていうのはどういう理由があるのかなと思ってちょっと質問させていただきました。

(事務局)

ありがとうございます。一応、現在も集計中ではあるんですけども、傾向として、この必要性の話以外に、計画案の案1案2というのもあります、やはりその地域がかなり空港に近いところということもあって、騒音とか、そういった周辺環境に関するご意見がかなりあったということでございます。ですので見かけ上、住民説明会で必要性に関する意見が少なくなっているというのは、そういうことではないかなというふうに推察しております。

(平田委員)

次のステップでの考慮される意見が比較的多いということなのでそちらで丁寧に、また分析していただければいいかなというふうに思います。

ありがとうございます。取り急ぎ視点1・2のとこだけ申し上げさせていただきました。

(石井委員長)

はい。どうもありがとうございます。私からも意見を申し上げます。基本的にはおふたりと変わらないんですけども、比較的札幌市段階から丁寧な住民説明をされてきたっていうことの結果として、それなりに適切に実施され、周知も進んでいるっていうようなふうに評価していいのかなというふうに思っています。

理解度についても、ある程度一定の理解が進んでいる中で、やり取りなり、質問されているっていうような印象もありますのでそれなりの状況かなというふうに思います。

今後について、必要性に関して、ある種、必要ないっていうようなことなんかはある意味では言いようがない類の意見になりますけれども、何らかの形で対応が必要な、いわば否定的な意見というようなものについてはできる限り前向きの対応を示すっていうことだけ今後についてお願ひできればというふうに思います。

一応あの3人から意見いただきましたし、残りお2人の方も事前に少し意見をいただいたかと思いますけれども、その議論も踏まえまして、中間報告における目標達成判断のうち、PIは適切に実施されたか・提供した情報は適切に周知されたか・PI対象者はPI推進協議会が提供した情報を理解できたかの3つの視点については、いずれも適切に実施されているという評価で一致したと考えていいかなというふうに思っております。

従いまして令和8年1月20日の意見募集期限を延長する必要はないと判断させていただきたいと思います。

また、4つ目の視点である、意見に対するPI推進協議会の考え方の提示については、ご説明にもありましたけれども、最終取りまとめまでに確実に実施するということをぜひお願ひしたいと思います。

引き続きPI活動を円滑に進めるため、積極的な情報発信とPI対象者に対する丁寧な説明を行い、次の段階となる施設計画案の検討についても当初予定通りしっかりと進めなければというふうに思います。

一応中間評価に関しては、このような整理ということでやらせていただければと思いますが、よろしいでしょうか？

(中澤委員)

はい。特に異存はございません。

(石井委員長)

はい。ありがとうございます。そうしましたら、本日は委員会全体で何かご意見等ございましたらお伺いしたいと思いますがいかがでしょうか？

(中澤委員)

ちょっと1点だけいいですか。マスコミの方も来られているんでちょっと確認ですが今後も1月20日までPI自体は続くと思うんですけど、1月20日まで続くのはハガキとか意見の募集期限と、他に何かパネルとかの展示で現在動いてるところっていうのはどの辺が設置されて動いているんでしょうか？

(事務局)

ありがとうございます。現在パネル展は丘珠空港で実施しているところでございますが、こちら意見募集の期限が1月20日となってございますので、空港のパネル展それからオープンハウスについても1月20日で終了というふうに考えてございます。

併せて、いろんなところに、チラシとか、ポスターとか、あと機能強化計画書とか、配付してございますけれども、こちらについても随時撤去していくということを考えてございます。

(中澤委員)

はい、ありがとうございます。最後の追い込みです。もう少し頑張っていろいろ意見を集めていただけたらと思います。私の質問は以上です。

(石井委員長)

はいありがとうございます。期限までできる限り意見を集めることに努めていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

(平田委員)

追加でよろしいですか。

(石井委員長)

はいどうぞ。

(平田委員)

すいません、先ほどの委員長からのご提案に私も異議ないというところと、あと今回中間取りまとめということで、一定程度必要性についても協議会でご判断いただくというところで理解しましたので、そもそもまだ、幸か不幸かたくさんご意見いただいたので事務局の方もまだ整理というかね、それはなかなか完璧にできてないっていうのも理解していますし、一方で先ほど委員長からのコメントでもあった通り、必要性について一定程度理解されているというところで判断できているということと、今回第1回のPI評価委員会で少しコメントしましたけど、2段階でやっているという意味で、本来でいうと札幌市さんでずっとやられたこともあるし、もう今回、1発目から必要性の議論可否の前に、滑走路の延長の方策というのを2つ示しているというところで、今回2段階途中でそれを一時中間評価されたという意味は、これまでの意見で、機能強化計画の冒頭出されたやつについてもこのまま引き続きこの案のままで、残り1週間ちょっとそんなに長くはないんですけども、この会議でた意見とか、コメントもおそらく公表していただけると思いますけどもそういうのをスピーディに速やかに、公表いただ

いて、残り 1 週間で元々の機能計画書を基に、フェーズ 2 のご意見も多数受け付けられるように、その広報というか、ちょっと短い期間ですけどもぜひ頑張ってやっていただければいいかなというふうに思っています。すいません以上です。

(石井委員長)

はい。ありがとうございます。それではお二人からの追加ご意見いただきましたんでこれで委員会としての意見については、終わらせていただいて、進行を事務局の方に戻させていただきます。

5. 閉会の挨拶

(司会)

本日はありがとうございました。

ご審議いただきました中間取りまとめに関しましては、明日、特設サイトの方で公表したいと思っております。また本日の委員会資料につきましても、後日特設サイトで公表をさせていただこうと思っております。

次回の委員会につきましては、1 月 20 日の意見募集締め切り後、最終取りまとめの結果を審議いただくため、改めて日程を調整の上、ご連絡させていただければと思っております。

また報道関係者におかれましては、冒頭にお伝えした通り、本日の委員会に関するご質問等がありましたら、報道発表資料に記載の問い合わせ先までご連絡いただければなと思っております。

以上をもちまして第 2 回丘珠空港 PI 評価委員会を終了いたします。本日は誠にありがとうございました。